

研究テーマ名	ALD法によるプルーフ貨幣等の防錆に関する調査研究
研究内容抄録	<p>平成28年度より令和元年度まで「防錆塗料に関する調査研究」において各種塗料について市場調査・サンプル調査を行ってきた。その中で、海外の造幣局で貨幣の防錆方法として採用されているアトミックレイヤーデポジション法（ALD法）を検討することとなり、令和3年7月にALD成膜装置が設置完了され、テストを行った。</p> <p>今回、成膜設定の条件の調査（異常停止した場合の想定も含む）を行い、追加成膜についても問題なくできることを確認した。</p> <p>また、成膜の耐久性についても検証を行い、変色・耐摩耗性及び耐衝撃性において母材の変色等の影響の出ない200℃付近が成膜温度の条件として妥当と確認できた。</p>
学会発表	—